

調査・研修等計画届出書

令和2年11月10日

瀬戸市議会議長 様

議員名 水野 良一



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 2年 11月 18日	
調査先・研修名	ふじのくに地球環境史ミュージアム	
会場名(会場所在地)	静岡県駿河区大谷 5762 番地 静岡市	
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	にじの丘学園の開校に伴い発生した小学校跡地の有効活用の検討を行うにあたり、先進事例の1つである、県立高校を改築した「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の視察を行うもの。	
議長名の依頼	<input checked="" type="checkbox"/> 要 ・ 不要	依頼先(名称)
		ふじのくに地球環境史ミュージアム 館長 安田 喜憲
同行者名	瀬戸市議会議員 三木 雪実・山田 治義・柴田 利勝 小澤 勝・西本 潤・	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和3年1月19日

瀬戸市議会議長 様

議員名 水野 良一



政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 2年 11月 18日
調査先・研修名	ふじのくに地球環境史ミュージアム
会場名(会場所在地)	静岡県静岡市駿河区大谷 5762 番地
調査・研修の目的 (今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて)	にじの丘学園の開校に伴い発生した小学校跡地の有効活用の検討を行うにあたり、先進事例の1つである、県立高校を改築した「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の視察を行うもの。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	
① 学校、校舎跡地の規模 ② 備品を活かした展示室の設営 ③ バックヤードを研究者研究室として利用 ④ 市外県外からの交通アクセス ⑤ 校舎改修にあたってのデザイン性 ⑥ ストーリー性のある魅力あるミュージアム	

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

別紙参照

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

① 総合的な建築物の面積

地域学の創造と人・交流・連携が導く血の拠点づくりを理念とした「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の展示スペースは、展示室（フロントヤード）、講座室（ミドルヤード）、博物館の裏舞台（バックヤード）と3つに分類し効果的な活用がされているが、かなりの面積を必要としている。瀬戸市で対象になる小学校跡地は5校あり、どの小学校も対比して延べ床面積が小さい。平均しても半分以下の面積である小学校校舎・教室に、この施設と同じ程度の展示物600,000点は到底管理しきれないように思われる。

② 地域の防災拠点の確保

瀬戸市の閉校する小学校跡地は、災害時に各地域の避難所に指定されており、共存する機能が必要と考える。

③ 施設までの交通アクセス

閉校した5校の立地を考えると、公共交通機関が利用出来そうな学校は、道泉小学校跡地と、深川小学校跡地の2校である。残りの3校は、東海環状自動車道の赤津・品野インターチェンジを活用し、マイカーでの往来であれば問題は無く、更に広いエリアから集客が見込める。

④ 他の施設との回遊性の良し悪し

瀬戸市の見所は、市内に点在するやきもの関係の施設で、観光等で回遊する場合、各5校への移動距離であるならば十分に回遊が楽しめるであろう。無論、愛知県の自然史と瀬戸市のやきもの文化を、歴史的背景とどのように結び付けるかは楽しい検討課題になる。

所感

閉校になった静岡県立南高校跡地校舎は、築年数が37年のため、校舎の再活用が可能である。それに対して瀬戸市の閉校した小学校校舎は、耐震工事を施してはあるものの築50年を超えている建築物が多い。仮にミュージアム等を開館したとしても、ある程度の年数が経てば建築物の改修等の必要性があり、膨大な費用が予想される。今回の視察により、ミュージアムの内容よりも規模が問題であると考えられる。全く可能性が無い訳ではない。瀬戸市の地の利を十分に活かし、より効果的な施設を考える良いきっかけとなった。

「ふじのくに地球環境史ミュージアム」は、FX国際インテリアデザイン賞、ドイツデザイン賞に輝き、デザイン性に優れた施設になっており、旧校舎を再利用していることからどこか懐かしさを感じる。子どもから大人までが地域の自然史、環境史を学び、考えるには相応しいと実感した。



ふじのくに地球環境史ミュージアム

Museum of Natural and Environmental History, Shizuoka



展示室「ふじのくにの海」

百年後の静岡が豊かであるために

静岡県初の県立自然系博物館「ふじのくに地球環境史ミュージアム」は、平成28年3月に開館しました。高校校舎を改修し、かつて生徒が使っていた学校机と椅子を活かした展示は、新時代の展示のあり方として評価され、国内外の空間デザイン賞を受賞しました。（「DSA 日本空間デザイン賞 2016」大賞、「The Best in Heritage 2019」に日本代表館として選出ほか）「地球環境史」とは、人と自然の関係の歴史のことです。ミュージアムは約90万点の収蔵品を用いて、過去を読み解き、現在を知り、人と自然が共存する未来を描きます。

思考を拓くミュージアム

10の常設展示室には、ふじのくにの海、大地などのテーマに沿って、収蔵資料の中から厳選された動植物の標本や化石が並びます。

本をじっくり見ていただくため、あえて解説文は控えめに、ラベルは小さめにしました。疑問が浮かんだら、ぜひスタッフにお尋ねください。「考える」を楽しみながら、これからの豊かさのかたちを探してみましょう。



展示室「ふじのくにの大地」



展示室「ふじのくにの海」

Tickets 常設展観覧料

個人	団体 (20名以上)
300円	200円
<p>観覧料割引等の特典が付いた「ふじミュージアム会員」を募集中です。詳細はホームページをご覧ください。</p>	
<p>学生(大学生以下)の方^{*1} 70歳以上の方 障害者手帳をお持ちの方^{*2}</p>	
無料	

^{*1}学生証、免許証、保険証等の証明書を御提示ください。
^{*2}身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその付添者1名は無料となります。

観覧への入館は無料です。
展示室1、2、キッズルーム、図鑑カフェが御利用いただけます。



Access アクセス

〒422-8017 静岡市駿河区大谷5762
(旧 県立静岡南高校)

- 《自家用車で越越しの場合》**
 - ナビでお越しの際は、住所で検索してください。
 - 東名高速道路日本平久能山スマートICから5分
 - 東名高速道路静岡ICから15分
 - JR静岡駅から20分
国道150号バイパスから「大谷放水路東」を左(右)折し、消防署前交差点を右折してください。
 - 駐車場 無料(200台)
- 《公共交通機関でお越しの場合》**
 - JR静岡駅北口バスターミナル
8-B番乗り場から美和大谷線
「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き(30分)で終点下車



ふじのくに
地球環境史
ミュージアム

百年後の静岡が豊かであるために

副館長

内野 昌美

〒422-8017

静岡市駿河区大谷5762

Tel 054-260-7111 Fax 054-238-5870

✉ masami1_uchino@pref.shizuoka.lg.jp

www.fujimu100.jp



ふじのくに
地球環境史
ミュージアム

百年後の静岡が豊かであるために

学芸課長 | 教授

渋川 浩一

〒422-8017

静岡市駿河区大谷5762

Tel 054-260-7111 Fax 054-238-5870

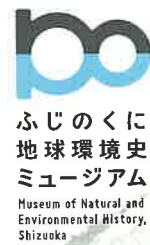
✉ koichi1_shibukawa@pref.shizuoka.lg.jp

✉ shibu@crux.ocn.ne.jp

www.fujimu100.jp



ふじのくに地球環境史ミュージアムの概要



百年後の静岡が豊かであるために

1 沿革

昭和61年度

平成7年度

平成15年度

15年9月

平成17年7月

平成20年度

平成22年度

平成23年度

平成25年3月

平成26年1月

3月

7月～8月

平成27年4月1日

平成28年3月26日

平成28年11月30日

平成29年6月23日

平成30年2月9日

平成30年10月21日

令和元年9月25～27日

令和2年2月22日

令和2年4月18日～5月8日

令和2年9月21日

静岡県新総合計画に「博物館構想の推進

有識者との懇話会開催など県立博物館構

有識者の意見を基に博物館のテーマを

静岡県総合計画に「自然系博物館の整備

自然史資料の収集保管業務を開始（特定

自然史博物館ネットワークに業務を委託

自然史資料の収集保管場所を教育委員会

収集保管場所を旧中部健康福祉センター庵原分庁舎に移転

名称を「静岡県自然学習資料センター」とする

ミニ博物館（展示）、出前博物館（講座）の教育普及活動開始

収集保管拠点を静岡南高校校舎に移転することを決定

新しい自然学習資料センターの機能と基本的な施設改修のあり

方に関する整備方針を策定

県立静岡南高校舎を博物館に用途変更する改修工事に着手

自然系博物館基本構想検討委員会において、「ふじのくに地球

環境史ミュージアム基本構想」を策定

改修工事完成に伴い、収集保管場所を旧静岡南高校校舎に移転

「ふじのくに地球環境史ミュージアム」を開設

「ふじのくに地球環境史ミュージアム」の一般公開開始

FX国際インテリアデザイン賞2016 最優秀受賞

開館からの累計入館者数10万人達成

ドイツデザイン賞2018 Winner受賞

開館からの累計入館者数20万人達成

クアアチアで開催された国際会議「The Best in Heritage (至

高の継承会議)」に日本代表館として参加、取組等を発表

開館からの累計入館者数30万人達成

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策の一環として臨時休館

日本展示学会賞受賞

常設展観覧券

招待券

有効期限:

2 施設概要

区分	内容
所在地	静岡市駿河区大谷5762 (旧県立静岡南高校跡地)
施設規模	地上3階建 建築面積: 約3,569m ² 延床面積9,334m ²
管理形態	県直営
人員体制	館長(非常勤) 副館長 企画総務課6名 学芸課6名 計14名
設置施設	調査研究 研究室9室、実験室5室、会議室
	収集保管 収蔵室15室、一時保管室2室、解剖室、液浸処理室、書庫資料室
	教育普及 講座室5室、講堂、視聴覚研修室、実習室
	展示 常設展示室10室、企画展示室2室
駐車場(無料)	自家用車 200台、大型バス 6台
施設整備費	約12億円

3割展示室 7割11の外

常設 9

企画 6

3 ミュージアムの理念

「“ふじのくに”の地域学の創造と人・交流・連携が導く知の拠点づくり」

- (1) 地域固有の自然の探求と自然史資料の保管・継承、活用
- (2) 自然から環境分野に広がる領域の新たな地域学の創造
- (3) 「有徳の人づくり」の推進
- (4) 人と情報の交流、連携が導く「知の拠点づくり」

4 活動の基本方針

- 自然史と環境史を研究領域とする全国初の地球環境史博物館として、調査研究、収集保管、教育普及、展示・情報発信等の博物館機能の充実を図る。
- 調査研究や教育普及など「ソフトパワー重視」の活動を展開する。

(1) 調査研究

地域の自然環境を明らかにする調査研究を行い、地域の自然の歴史や環境の変化を把握するとともに、調査研究活動により収集した資料の新たな価値を発見し、その価値を高め、展示や教育、情報発信へ反映する。

また、調査研究の成果を国際的な学術誌等への論文発表や著書などによる一般への普及を前提に活動を行うなど、質の高い調査研究を推進する。

(2) 収集保管

貴重な地域資産の滅失・散逸を防止するため、人類共有の財産である自然史、環境史に関する資料やそれに関連する資料等を収集し、適切な環境で保管し、次世代に継承していく。

(3) 教育普及

県民が自立して学ぶことができる生涯学習拠点づくりを推進するため、幼児から大人まで世代に応じた体験型講座等を開催する。

移動ミュージアムや野外での自然学習講座などのアウトリーチ活動を全県で展開する。

(4) 展示・情報発信

“ふじのくに”の自然の実態や成り立ち、人と自然の関わりの歴史とその変化、郷土の生物多様性、地球環境リスクなどを紹介するとともに、来館者と未来の在り方を考える常設展示を開催する。また、ミュージアム単独の企画や外部機関との共催による企画展を計画的に開催する。

5 博物館（来館者ゾーン）の概要

区分	内容
開館時間	10時～17時30分（入館時刻は17時まで）
休館日	月曜日（月曜日が休日の場合は次の平日）、年末年始
展示室	常設展示室10室、企画展示室2室
諸室	講座室A～E、講堂、図鑑カフェ、キッズルーム ほか
観覧料	常設展：個人300円（大学生以下、70歳以上、障害者等は無料） 団体 1人につき200円（20人以上）

○ 常設展示

展示室	テーマ	展示のねらい
1	地球環境史との出会い	地球の豊かさと環境考古学がひもとく地球環境史
2	ふじのくにのすがた	豊かな自然の恵みと脅威を併せ持つ静岡県の今の姿
3	ふじのくにの海	静岡の豊かな海に暮らす生き物とその恵み
4	ふじのくにの大地	比類なき立地と地形に暮らす生き物の多様性
5	ふじのくにの人と環境	静岡における人と自然の関わりの歴史とその変化
6	ふじのくにの成り立ち	現在の静岡の地がどのように形成されてきたか
7	ふじのくにの生物多様性	静岡の生物多様性
8	生命のかたち	脊椎動物の骨格の多様性
9	ふじのくにと地球	人間の歴史の短さと起きている地球環境リスク
10	ふじのくにと未来	未来の生き方のヒントと生命文明の構築に向けて

※ 展示室1、2は無料、3～10は有料

<常設展示の特徴>

(1) 学校備品の展示への活用

- ・高校当時に使用していた机や椅子を展示物の一部に活用し、校舎の再利用にふさわしい展示空間とすることや学校の名残をとどめることで、来館者に過去の学びの経験を思い起こさせ、考える行為を自然に誘発する仕掛けとした。

(2) 「見る」展示から「考える」展示への進化

- ・「百年後の静岡が豊かであるために」という活動テーマの下、「これからの豊かさとは何か?」という問いかけに対して、自分自身が答えを探していく仕掛けとし、各教室を一つの単位とした10の展示室を順番に巡る方法とした。また、各室に展示説明ができるスタッフを配置。
- ・展示室9、10にはインタープリター（展示交流員）を配置し、地球環境をテーマに来館者が参加する思考型展示「地球家族会議」を毎日開催。
- ・スタッフとの対話・交流を楽しみながら、来館者が考え、理解を深め、次の行動を促すことを目指した「考える」展示に取り組む。

(3) ミドルヤード展示

- ・博物館の舞台裏であるバックヤードでの活動の様子を来館者に理解していただくため、展示室（フロントヤード）とバックヤードの間にある講座室をミドルヤードと位置付け、標本づくりや調査研究の様子を公開。

6 来館者数の推移

年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R元年度	累計
開館日数	5日	309日	308日	311日	309日	1,242日
来館者数	5,809人	80,854人	68,466人	79,676人	78,118人	312,923人

※無料ゾーン利用者、再入場者等を含む。

<参考>令和元年度観覧者区分別構成比

区分	一般		未就学 小学生	中学生 高校生	大学生 専門生	70歳 以上	その他	計
	個人	団体						
構成比	36.7%	2.3%	30.2%	6.1%	3.1%	6.8%	14.8%	100.0%

(3) アウトリーチ活動 ※H27.6開始後、累計観覧者数は3,158,481人

区分	H28年度		H29年度		H30年度		令和元年度	
	開催実績	観覧者数	開催実績	観覧者数	開催実績	観覧者数	開催実績	観覧者数
移動ミュージアム	か所 44	人 623,311	か所 50	人 876,147	か所 70	人 505,846	か所 59	人 643,598
ミュージアムキャラバン	30	323,763	39	683,551	49	309,991	43	353,972
ミニ博物館	14	299,548	11	192,596	21	195,855	16	289,626

(4) 企画展

＜令和2年度計画＞

企画展名	開催期間	概要
消えゆく隣人 ー静岡県レッドリストの絶滅危惧種ー	5/9～8/23 (93日間)	県内の絶滅危惧種を貴重な標本や写真で紹介
みんなとつくる企画展 第3回ふじミュージアム写真展	9/5～11/8 (56日間)	第3回写真コンテスト「四季折々のしずおかの生き物」の入賞作品等を展示
県の鳥 サンコウチョウ	9/5～11/8 (56日間)	サンコウチョウの子育てから巣立ちまでの様子を貴重な写真や動画で紹介
食虫植物 ーシンカのからくりー	12/5～4/4 (100日間)	生き物の「食うー食われる」の関係に反旗をひるがえした食虫植物と冬虫夏草類の不思議と秘密について紹介

＜令和元年度実績＞

企画展名	開催期間	概要	観覧者数
ミュージアム キャラバン展	4/6～5/26 (45日間)	好評の出張展示「ミュージアムキャラバン」から「植物の世界」「魚の世界」を展示	6,893人
伊豆半島 驚異の環境	6/15～8/25 (63日間)	伊豆半島の地形・地質や生息する動植物等を通して、同地環境の特性や希少性、魅力を紹介	11,391人
みんなとつくる企画展 第2回ふじミュージアム写真展	9/7～11/4 (51日間)	第2回写真コンテスト「水のある静岡の風景・自然」の入賞作品等を展示	5,861人
大絶滅	11/30～4/5 (105日間)	地球史上6回目の大量絶滅期とされる現代。かつての大量絶滅を最新の地球科学的知見や実物化石をもとに紹介	15,676人

＜平成30年度実績＞

企画展名	開催期間	概要	観覧者数
ミュージアム キャラバン展	3/21～5/27 (59日間)	好評の出張展示「ミュージアムキャラバン」から「化石の世界」「魚の世界」を展示	7,501人
南アルプス～北極と ヒマラヤが会う場所～	6/16～9/24 (88日間)	北から来た生物と南からの生物が出会う場所「南アルプス」の成り立ちとそこにくらす生物を紹介	13,965人
第1回 ふじミュージアム写真展	10/6～10/28 (20日間)	第1回写真コンテスト「私が見つけた静岡の自然」の入賞作品等を展示	2,102人
くらやみの覇者 ー駿河湾 のサメにみる多様性と未来ー	12/1～3/24 (95日間)	駿河湾に生息するラブカなど様々なサメの姿や生態を通じてサメと人との関わりについて紹介	13,830人

ミュージアムキャラバン

1 概要

- ・ミュージアムキャラバンとは、デザイン性に富む展示ユニットを用いて、小中学校等の施設内に一時的なミュージアム空間を創出する移動型展示物である。
- ・ミュージアムのPRを行うとともに、子供たちの知的好奇心に働きかけ、自然に対する興味の喚起、感性の涵養を図る。

2 展示内容（製作されている4テーマ）

「昆虫の世界」	「化石の世界」	「魚の世界」	「植物の世界」
<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県の蝶 ・静岡県の甲虫 ・世界の蝶 ・世界の甲虫 ・昆虫の動画映像 	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県の地域別化石 ・アンモナイトの世界 ・掛川層群の化石 ・色々な化石（微化石等） ・始祖鳥レプリカ 	<ul style="list-style-type: none"> ・生息場所別の海の魚 ・生息場所別の川の魚 ・絶滅危惧種の魚 ・透明骨格標本等 ・ヨロイザメの剥製 	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県の植物 ・日本一大きなオニバスの葉 ・ドングリ標本 ・食虫植物 ・モダマの大型種子

3 展示の様子



・標本箱の横は解説



・子どもたちの様子



・広いロビーにも対応



・各テーマ5基のユニットからなる。

館内イベント

1 概要

- ・ 県民の自然科学への関心を促すため、大型連休や夏休み等の土日祝日を中心に、小学生から一般まで世代に応じた体験型講座などを開催している。
- ・ 各種講座は、ミュージアム職員はもとより、NPO会員、インタープリター、ミュージアムサポーター、来館者サービススタッフ等ミュージアムの運営を支える多くのスタッフとの協働により、開催している。

2 イベントの様子

○昆虫観察会



○化石のレプリカ作り



○フナの解剖体験



① 災害時における、防災機能を有しているか

- ・静岡市から次の指定を受けています。(大谷小学校が第一の避難所とされており、今まで静岡市から避難所開設の要請は受けたことがない。)

区 分	種 別	備 考
グラウンド	一次避難地	
講堂 (153 m ²)	避難所	収容可能人数 51 人
図鑑カフェ (229.5 m ²)	避難所	収容可能人数 76 人

- ・その他に静岡市に対しグラウンドへの防災倉庫の設置を許可(行政財産使用許可)しています。

② 運営は県が行っていると聞いていますが、業務委託はされておられるのか

- ・以下の業務を委託しています。
来館者サービス業務、標本・資料整理保存業務、清掃業務、ミュージアムショップ営業業務、警備業務、消防設備等各種点検業務、バス運行業務など

③ 旧校舎を展示室に活用していますが、耐震及び耐久年数はどれくらいなのか

- ・東海地震緊急対策方針に基づく公共建築物の耐震性能の公表の中で、東海地震に対する耐震性能は「I a」と評価されています。

I a・・・東海地震に対する耐震性能が優れている建物。軽微な被害にとどまり、地震後も建物を継続して使用できる。

- ・鉄筋コンクリートの建築物の法定耐用年数は 47 年ですが、これは減価償却費を計算するために用いる数字であり、実際の耐用年数はメンテナンスや立地環境により異なるそうです。

④ ミュージアムの開館により、地域に及ぼした効果はどのようなものがあるか

- ・地元の駿河台、洋光台団地等は、1980 年代に整備された住宅団地で、住民の高齢化に加え、平成 24 年度に静岡南高校の廃校が決定し、地区の活気が無くなっていくことを憂慮していました。
- ・過去の地元自治会との交渉記録を見ると、静岡南高校の跡地に同じく文教施設であるミュージアムが開館することが決まり、地元自治会は地域が賑わうことを歓迎していたとのことでした。

⑤ ミュージアムを開館するまでの経緯についてお聞きしたい

- ・資料のとおりです。

⑥ 選考された基準と選考理由について

- ・以前から民間などが所有する既存の標本・資料の散逸を防ぐため、その収集をしており、広い

地球環境史からの問いかけ

www.environmentalhistory.or.jp

地球環境史

||

関係の歴史から

豊かさ

を

考えること

人と自然の

未来











豊かであるために 百年後の静岡が

開館時間 | 10:00-17:30 (最終入館は17:00)
休館日 | 毎週月曜 (月曜が祝日の場合は次の平日)、年末年始

tickets 常設展観覧料

個人	団体 (20名以上)	学生(大学生以下)の方 ^{*1} 70歳以上の方 身体障害者手帳等をお持ちの方 ^{*2}
300円	200円	無料


^{*1}学生証、免許証、保険証等の証明書を御提示ください。


^{*2}身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方とその付添者1名は無料となります。

建物への入館は無料です。展示室1・2、キッズルーム、図書カフェが御利用いただけます。

access アクセス

《自家用車でお越しの場合》ナビでお越しの際は、住所で検索してください。

- 東名高速道路日本平久能山スマートICから5分 
- 東名高速道路静岡ICから15分
- JR静岡駅から20分
国道150号バイパスから「大谷放水路東」を左(右)折し、消防署前交差点を右折してください。
- 駐車場 無料(200台)

《公共交通機関でお越しの場合》 

- 静岡駅北口バスターミナル
8-B乗り場から美和大谷線「ふじのくに地球環境史ミュージアム」行き(約30分)終点下車



ふじのくに 地球環境史 ミュージアム

Museum of Natural and
Environmental History,
Shizuoka

豊かであるために
百年後の静岡が

地球環境史とは何か?

地球環境史とは、人と自然の関係の歴史のこと。

そしてミュージアムは、

そこから未来の豊かさとは何かを考えます。

現代を生きる私たちは、快適で便利な暮らしを追求し、豊かな社会を築いてきました。

一方で私たちはいま、人間活動の肥大化がもたらした様々な環境リスクに脅かされています。

いまから考えてみましょう、その先の豊かなふじのくにを。

思考するミュージアム

ふじのくに地球環境史ミュージアムは、標本・資料の力を大切にしています。

標本をじっくり見ていただくため、あえて解説文は控えめに、ラベルは小さめにしました。

疑問が浮かんだら、ぜひスタッフにお尋ねください。

“考える”を楽しみながら、これからの豊かさのカタチを探してみましょう。



ふじのくに地球環境史ミュージアム

〒422-8017 静岡市駿河区大谷5762(旧 県立静岡南高校)

Tel:054-260-7111 Fax:054-238-5870

E-mail:info@fujimu100.jp

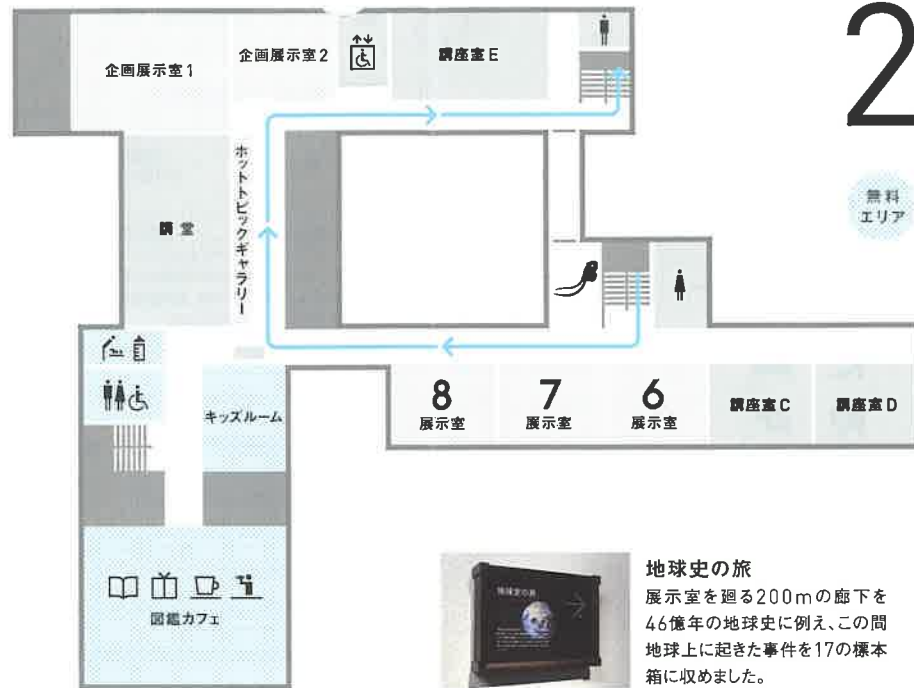
www.fujimu100.jp



www.fujimu100.jp



- 館内は禁煙です。敷地内の喫煙所をご利用ください。
- ペットを連れての入館はご遠慮ください。(介助犬は除く)
- 指定箇所以外での飲食はご遠慮ください。
- 展示物の撮影は可能です。フラッシュや三脚を用いた撮影はご遠慮ください。
- 展示物には触らないでください。
- 他のお客様のご迷惑となる行為はご遠慮ください。



地球史の旅
展示室を回る200mの廊下を46億年の地球史に例え、この地球上に起きた事件を17の標本箱に収めました。



1 地球環境史との出会い
地球環境史とは何か？海や大地に刻まれた記録は、人と自然の歴史を伝え、未来を照らす道しるべとなります。



2 ふじのくにのすがた
ふじのくにの自然は、私たちのくらしに豊かな恵みを与えてくれる一方で、時として脅威となり平穏な日常を奪います。



3 ふじのくにの海
日本一深い湾、駿河湾を有するふじのくにの海には、多種多様な水生生物がすみ、豊かな海の幸をもたらしてくれます。



4 ふじのくにの大地
あらゆる生物は、「食う-食われる」の食物網でつながっています。私たち人間も例外ではありません。



5 ふじのくにの環境史
縄文時代から現代に至る歴史の中で、ふじのくににすむ人と自然の関係は、どのように変化してきたのでしょうか？



6 ふじのくにの成り立ち
県内各地から産出する岩石や鉱石、そして化石が、ふじのくにの成り立ちや、大昔の自然や生物の存在を語ります。



7 ふじのくにの生物多様性
ふじのくにの変化に富む自然環境に育まれた多様な生物たちを、当館が収集した多くの標本を通じて紹介します。



8 生命のかたち
ここは脊椎動物たちの教室。黒板の座席表を見ながら出欠をとってみましょう。返事はしてくれないと思いますが…。



9 ふじのくにと地球
地球家族会議テーブルを囲んで、私たちが生きているふじのくにと地球の“7+1”の環境リスクを知りましょう。



10 ふじのくにと未来
心豊かに暮らすとはどういうことでしょうか。百年後の静岡が豊かであるために、私たちが今できることを考えます。



キッズルーム
親子で安心して遊べる木のおもちゃが揃っています。対象年齢：小学校低学年まで ※必ず保護者同伴でお楽しみください。



図書カフェ
駿河湾や南アルプスが一望できる休憩スペースに、自然科学を中心とした図書や絵本を集めました。ゆっくりおつろぎください。

行程表

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
2 年 11 月 18 日	瀬戸市役所前	名鉄	往復	大曾根	14.8	km	820	円	円
	名古屋	新幹線	往復	静岡	185.8	km	12,540	円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

13,360 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

小計 0 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費		
							運賃	特急料金	等
年 月 日						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
						km		円	円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金		
							円		
備考欄									

パック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

0 円

13,360 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

13,360 円